「COVID-19 流行期前後における ANCA 関連血管炎の臨床像に関するコホート研究」のお知らせ

膠原病の一つである ANCA 関連血管炎には顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症という３つの疾患があります。発症初期にしっかりと治療（ステロイドと免疫抑制薬）を行うことで良好な改善が得られますが、それとともに免疫力が低下するため感染症などの合併症が問題となります。COVID-19 が流行してる今、治療による免疫力低下により感染のリスクが上昇するのではないかということが懸念されています。仮に関係があるのであればその流行にあわせて治療を弱めるなどの対応が必要ですが、その流行状況は国によって異なり、また現在のところこの３つの疾患への治療と COVID-19 発症の関係は明らかになっていません。幸いにもわが国では米国や欧州と比較してその流行は抑えられていますが、それらの国では実際に治療を受けられた方の感染も報告されています。米国（代表：ジョンスホプキンスクリニック）や欧州（代表：オーストリア・インスブルッグ医科大学）の研究機関と共同して、各国ごとにこの疾患の治療状況、予後を調査し比較することで今の時代に最適な治療選択を探ることが本研究の主たる目的になります。

＜研究対象＞当院で 2017 年４月１日から 2023 年３月 31 日までの間に、ANCA 関連血管炎（顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症）の発症あるいは再燃に対して診療を受けられた、20 歳以上の患者さん

＜研究期間＞2024 年３月 31 日までを予定しています。

＜研究内容＞年齢や性別、診断日、発症・再発日、治療開始日、診断名、診断方法、合併症、血液検査やレントゲンの検査結果、治療内容、予後などを診療録より調べます。

＜研究代表者＞京都府立医科大学　免疫内科学　病院教授　川人　豊

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。研究結果は，研究代表者に情報を提供します。また、学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。 本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお伝えください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2021 年４月５日

京都桂病院　腎臓内科　部長　宮田　仁美